

教科 理科	科目 科学と人間生活	単位数 2
【指導目標】 ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。 ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。		
【知識技能】 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。		
【思考・判断・表現】 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。		
スクーリング	4時間(前期2時間, 後期2時間) ※4時間減免	4時間とも要出席
レポート	年間6枚(前期3枚, 後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末, 後期末)	30点以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験50%, レポート40%, スクーリング態度10%で評価する	
教科書	高等学校 科学と人間生活(第一学習社)	
学習書	本校制作プリント	
副教材	ネオパルノート科学と人間生活(第一学習社)	

回	単元	教科書の	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
		ページ		／締め切り	試験
1	「科学技術の発展」 ※「材料とその利用」 *メディア視聴 *視聴確認テスト	前見返し～11 16～41	1～10	No.1／ 5月15日	前期
2	※「衣料と食品」 *メディア視聴 *視聴確認テスト	42～65	11～20	No.2／ 6月15日	
3	※「ヒトの生命現象」 *メディア視聴 *視聴確認テスト	66～89	20～29	No.3／ 7月19日	
4	※「微生物とその利用」 *メディア視聴 *視聴確認テスト	90～109	30～38	No.4／ 10月20日	後期
5	※「熱の性質とその利用」 「光の性質とその利用」 *メディア視聴 *視聴確認テスト	110～145	39～52	No.5／ 11月15日	
6	※「自然景観と自然災害」 「太陽と地球」 「これからの人間生活」 *メディア視聴 *視聴確認テスト	146～199	53～68	No.6／ 12月15日	